



1月 ほけんだより



こども未来局
保育・子育て推進部

令和8年1月1日
生田保育園

あけましておめでとうございます。今年もよろしくおねがいいたします。年末年始は、子どもが飾り物やプレゼントに接する機会が多い時期です。小さな子どもは様々なものに興味を示しますが、口に入れると誤飲や窒息の危険があります。以下のポイントに注意して、楽しい時間を安全に過ごしましょう。

飾り物や玩具の誤飲に注意!



- 玩具の場合、子どもの年齢や発達に適しているかを確認して使いましょう。また、日本玩具協会のSTマークも参考にしましょう。
- 年長のきょうだいの玩具の取扱いにも注意しましょう。
- もしもの時に備えて、応急手当の方法を確認しておきましょう。
こども家庭庁「こどもの事故防止ハンドブック」の
「応急手当方法」
「異物を飲み込み喉に詰まってしまった時」
「誤飲対処早見表」をご参照ください。

こども家庭庁
もしもの時の「応急手当方法」
他
<https://www.cfa.go.jp/policies/child-safety-actions/handbook/content-7/>

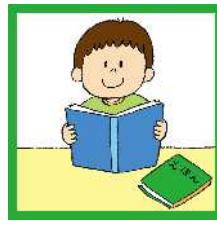
口に入る小さなもの、小さな部品がはずれて口にはいる可能性がないものか



子どもの年齢・発達に適しているか



取扱説明書の注意事項を確認したか



破損や不具合がないか



安全性の高い服を選ぶには？「この服は安全か」の意識を持つことです

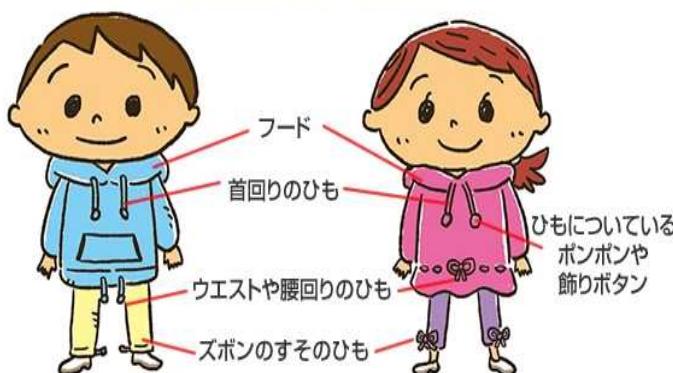
大人がこども服を選ぶ際には、色や形などファッショング面でのデザインや着心地、脱ぎ着のしやすさなどのほかに、安全性についても十分に考えて選びましょう。こどもがその服を着てどのような行動をするか——走ったり、跳びはねたり、勢いよくしゃがんだり、あるいは児童公園の遊具により登ったり駆け下りたりするかどうかなどを考え、その際に周囲の凹凸につまずいたり衣服がひっかかったりしないかどうか、想像してみましょう。

例えば、下図のような点について点検して、なるべく引っかかるリスクの低い服を選びましょう。

こども服の要注意ポイント

出典：政府広報オンライン「カワ「カワイイ！」だけで大丈夫？こども服は、安全性を考えて選びましょう

例えば、こんな部分が家具やドア、遊具などにひっかかると、転倒や首縊めなどの事故に…。



〈ほけん行事〉

園医相談日 13日（火）

身体測定：

6日（火）幼児クラス

7日（水）乳児クラス

☆身体測定は下着着用で実施しています。

Tシャツなど上の着衣の下に、肌着の着用をお願いいたします。

